



平成30年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月11日

上場会社名 (株)アルバック
 コード番号 6728 URL <https://www.ulvac.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 岩下 節生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR室長 (氏名) 梅田 彰

TEL 0467-89-2033

四半期報告書提出予定日 平成30年5月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (国内機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	190,164	10.3	29,807	28.5	31,108	32.6	25,307	41.3
29年6月期第3四半期	172,373	14.3	23,187	42.1	23,462	42.6	17,904	51.6

(注) 包括利益 30年6月期第3四半期 38,761百万円 (66.7%) 29年6月期第3四半期 23,259百万円 (236.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	513.61	
29年6月期第3四半期	363.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第3四半期	292,342	140,252	45.8
29年6月期	245,306	104,917	40.2

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 133,942百万円 29年6月期 98,688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期				50.00	50.00
30年6月期					
30年6月期(予想)				95.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	7.8	35,500	20.5	36,000	21.1	30,500	24.6	619.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期3Q	49,355,938 株	29年6月期	49,355,938 株
期末自己株式数	30年6月期3Q	82,336 株	29年6月期	83,577 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期3Q	49,272,771 株	29年6月期3Q	49,305,312 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	11
3. 補足情報	12
(1) 販売実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	29年6月期第3四半期 連結累計期間	30年6月期第3四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	171,160	195,231	14.1%
売上高	172,373	190,164	10.3%
営業利益	23,187	29,807	28.5%
経常利益	23,462	31,108	32.6%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	17,904	25,307	41.3%

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資が緩やかに増加し、企業収益が改善するなど、緩やかに回復してきました。米国では、個人消費や設備投資の増加などにより景気の回復が続いてきました。欧州では、消費が増加し、生産や輸出が持ち直すなど、景気は緩やかに回復してきました。中国では、各種政策効果もあり、景気に持ち直しの動きが続いてきました。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス市場においては、データセンター向けサーバー需要の増加等によるメモリ需要の拡大を受け、半導体メモリメーカーにおける設備投資が増加しました。またフラットパネルディスプレイ(FPD)業界においては、テレビ用パネルの大型化、高精細化が進み、大型液晶パネル製造向けの設備投資が中国を中心として拡大、スマートフォン向け有機ELパネルの設備投資とともに高水準で推移しました。

このような状況において、当第3四半期連結累計期間につきましては、受注高は1,952億31百万円(前年同期比240億71百万円(14.1%)増)、売上高は1,901億64百万円(同177億91百万円(10.3%)増)となりました。また、損益につきましては、営業利益は298億7百万円(同66億20百万円(28.5%)増)、経常利益は311億8百万円(同76億46百万円(32.6%)増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は253億7百万円(同74億3百万円(41.3%)増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

「真空機器事業」

(単位：百万円)

	29年6月期第3四半期 連結累計期間	30年6月期第3四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	149,165	170,590	14.4%
売上高	148,904	166,242	11.6%
営業利益	21,236	27,406	29.1%

真空機器事業を品目別に見ますと次のとおりです。

(FPD及びPV製造装置)

FPD製造装置の受注高は、中国を中心としたテレビ向け大型液晶製造装置やスマートフォン向け中小型有機EL製造装置などの受注を計上しましたが、第3四半期における受注が一時的に低調となり、累計では前年同期を下回りました。なお受注高は第4四半期には回復する見込みです。一方、売上高は、堅調に推移し、前年同期を上回りました。

(半導体及び電子部品製造装置)

半導体関連は、メモリ向け投資の拡大に伴い、NANDフラッシュメモリや次世代不揮発性メモリ向けのスパッタリング装置や自然酸化膜除去装置が増加、電子部品関連は、モバイル機器向け高機能デバイス製造装置などが堅調に推移し、前年同期を大幅に上回る受注高、売上高となりました。

(コンポーネント)

有機EL製造装置に搭載するクライオポンプをはじめ、FPD、半導体、電子部品業界や自動車関連向け真空ポンプや計測機器が堅調に推移し、受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

(一般産業用装置)

自動車部品製造用真空熱処理炉や漏れ検査装置などを中心に受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

その結果、真空機器事業の受注高は1,705億90百万円、受注残高は1,058億98百万円、売上高は1,662億42百万円となり、274億6百万円の営業利益となりました。

「真空応用事業」

(単位：百万円)

	29年6月期第3四半期 連結累計期間	30年6月期第3四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	21,995	24,641	12.0%
売上高	23,468	23,922	1.9%
営業利益	1,936	2,410	24.4%

真空応用事業を品目別に見ますと次のとおりです。

(材料)

主に液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲットを中心に前年同期を上回る受注、売上を計上しました。

(その他)

マスクブランクス関連は、高精細、高機能ディスプレイパネルや車載及び産業用半導体需要の増加を受け概ね堅調に推移しました。一方、分析機器関連の売上高は前年同期に対しては低調な結果となりました。

その結果、真空応用事業の受注高は246億41百万円、受注残高は58億48百万円、売上高は239億22百万円となり、24億10百万円の営業利益となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

前連結会計年度末に比べ、470億35百万円増加となりました。主な内容は、投資有価証券が170億44百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が156億6百万円増加したこと、たな卸資産が72億10百万円増加したこと、現金及び預金が35億6百万円増加したことなどです。

(負債)

前連結会計年度末に比べ、117億円増加となりました。主な内容は、支払手形及び買掛金が76億66百万円増加したこと、繰延税金負債(固定)が51億86百万円増加したこと、前受金が27億79百万円増加したこと、長期借入金が21億6百万円増加したこと、一方で、短期借入金が77億61百万円減少したことなどです。

(純資産)

前連結会計年度末に比べ、353億35百万円増加となりました。主な内容は、利益剰余金が228億39百万円増加したこと、その他の包括利益累計額が124億11百万円増加したことなどです。

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益、減価償却費、仕入債務の増加、前受金の増加などのプラス要因に対し、売上債権の増加、たな卸資産の増加などのマイナス要因により、168億12百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

預入期間が3か月を超える定期預金の減少による収入、投資有価証券の売却による収入などのプラス要因に対し、有形及び無形固定資産の取得による支出などのマイナス要因により、28億84百万円の収入となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の減少、長期借入金の減少、配当金の支払などにより、91億77百万円の支出となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、107億43百万円増加し、582億98百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期の業績予想につきましては、平成30年2月13日に公表しました見通しを変えておりません。

(注)この決算短信で述べている将来の当社に関する見通しは、現時点で把握しうる情報をもとに作成したものです。当社グループの主要取引先であるFPD、半導体及び電子部品業界は、特に技術革新のスピードが大変速く、かつ、競争の激しい産業です。また、世界経済、為替レートの変動、原材料価格、FPD、半導体及び電子部品の市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的、間接的に影響を与える様々な外部要因があります。従いまして、実際の売上高及び利益は、この決算短信に記載している予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,434	59,940
受取手形及び売掛金	70,519	86,125
商品及び製品	5,097	3,783
仕掛品	15,880	22,817
原材料及び貯蔵品	9,240	10,827
繰延税金資産	6,027	5,761
その他	7,299	8,941
貸倒引当金	△811	△916
流動資産合計	169,685	197,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,229	31,568
機械装置及び運搬具(純額)	14,451	13,776
工具、器具及び備品(純額)	1,647	1,673
土地	8,096	8,096
リース資産(純額)	834	764
建設仮勘定	3,049	7,095
有形固定資産合計	60,306	62,972
無形固定資産		
リース資産	67	81
ソフトウェア	690	842
その他	2,815	2,467
無形固定資産合計	3,573	3,390
投資その他の資産		
投資有価証券	4,389	21,433
繰延税金資産	2,298	2,465
その他	7,107	6,853
貸倒引当金	△2,051	△2,048
投資その他の資産合計	11,743	28,702
固定資産合計	75,622	95,064
資産合計	245,306	292,342

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,829	56,495
短期借入金	30,199	22,438
リース債務	315	310
未払法人税等	2,525	4,244
前受金	16,908	19,686
繰延税金負債	10	20
賞与引当金	2,738	4,486
役員賞与引当金	401	309
製品保証引当金	2,069	1,559
受注損失引当金	785	419
その他	11,175	10,645
流動負債合計	115,954	120,613
固定負債		
長期借入金	12,528	14,634
リース債務	692	634
繰延税金負債	1,408	6,595
退職給付に係る負債	8,311	8,142
役員退職慰労引当金	335	291
役員株式給付引当金	74	118
資産除去債務	392	395
その他	694	667
固定負債合計	24,436	31,476
負債合計	140,389	152,089
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,873	20,873
資本剰余金	3,912	3,912
利益剰余金	73,801	96,640
自己株式	△271	△266
株主資本合計	98,315	121,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	491	12,077
為替換算調整勘定	2,480	3,104
退職給付に係る調整累計額	△2,599	△2,398
その他の包括利益累計額合計	372	12,783
非支配株主持分	6,229	6,310
純資産合計	104,917	140,252
負債純資産合計	245,306	292,342

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
売上高	172,373	190,164
売上原価	124,225	132,928
売上総利益	48,148	57,235
販売費及び一般管理費	24,960	27,428
営業利益	23,187	29,807
営業外収益		
受取利息	79	102
受取配当金	280	370
持分法による投資利益	125	317
その他	918	1,375
営業外収益合計	1,402	2,163
営業外費用		
支払利息	424	276
その他	703	586
営業外費用合計	1,127	862
経常利益	23,462	31,108
特別利益		
固定資産売却益	34	—
投資有価証券売却益	17	2,002
特別利益合計	51	2,002
特別損失		
固定資産売却損	417	—
固定資産除却損	378	79
特別損失合計	795	79
税金等調整前四半期純利益	22,719	33,032
法人税、住民税及び事業税	4,100	6,429
法人税等調整額	△460	309
法人税等合計	3,640	6,738
四半期純利益	19,079	26,293
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,176	987
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,904	25,307

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	19,079	26,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	364	11,574
為替換算調整勘定	3,611	683
退職給付に係る調整額	202	200
持分法適用会社に対する持分相当額	3	10
その他の包括利益合計	4,179	12,468
四半期包括利益	23,259	38,761
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,816	37,718
非支配株主に係る四半期包括利益	1,443	1,044

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	22,719	33,032
減価償却費	4,816	4,840
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△235	94
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,724	1,762
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△22	36
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△6	△44
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	56	44
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	120	△511
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	402	△367
受取利息及び受取配当金	△359	△472
支払利息	424	276
投資有価証券売却損益 (△は益)	△17	△2,002
固定資産売却損益 (△は益)	383	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,751	△15,111
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,507	△7,421
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,939	7,380
前受金の増減額 (△は減少)	△2,291	2,670
未払消費税等の増減額 (△は減少)	9	△603
その他	△196	△2,238
小計	28,207	21,365
利息及び配当金の受取額	373	481
利息の支払額	△424	△277
法人税等の支払額	△3,792	△4,756
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,364	16,812
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,089	△10,628
定期預金の払戻による収入	2,894	17,864
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,103	△6,396
有形及び無形固定資産の売却による収入	210	14
投資有価証券の売却による収入	20	2,171
関係会社株式の取得による支出	-	△292
その他	171	151
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,897	2,884
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△9,901	△4,596
長期借入れによる収入	-	8,200
長期借入金の返済による支出	△6,537	△9,304
配当金の支払額	△1,476	△2,464
自己株式の取得による支出	△260	△0
その他	△683	△1,013
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,856	△9,177
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,205	223
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,816	10,743
現金及び現金同等物の期首残高	44,862	47,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,678	58,298

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	148,904	23,468	172,373	—	172,373
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,787	995	2,782	△2,782	—
計	150,692	24,464	175,155	△2,782	172,373
セグメント利益	21,236	1,936	23,172	15	23,187

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年7月1日至平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	166,242	23,922	190,164	—	190,164
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,994	1,312	3,307	△3,307	—
計	168,236	25,234	193,470	△3,307	190,164
セグメント利益	27,406	2,410	29,815	△8	29,807

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
真空機器事業	166,242	111.6
真空応用事業	23,922	101.9
合計	190,164	110.3

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 真空機器事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第3四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)
FPD及びPV製造装置	85,289	51.3
半導体及び電子部品製造装置	39,179	23.6
コンポーネント	24,591	14.8
一般産業用装置	17,182	10.3
計	166,242	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 真空応用事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第3四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)
材料	11,428	47.8
その他	12,494	52.2
計	23,922	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。